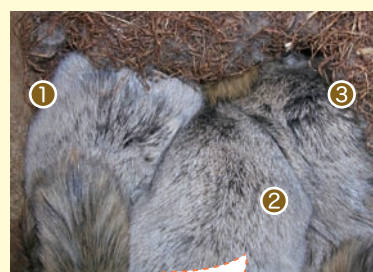


Q6 エゾモモンガは1匹で暮らしているの？

エゾモモンガは基本的には単独(1匹)で生活する生き物です。しかし、冬が近くなると複数のオスやメスが一緒に巣(樹洞)に入ることがあります。これは体温が下がるのを防ぐ効果があるとされ、春の繁殖に向けた戦略であるともいわれています。



(浅利)

ひとつの巣箱に
集まった7匹



(山口裕)

巣箱の中で体を
寄せ合う3匹

Q7 エゾモモンガにライバルはいるの？

エゾモモンガの餌は、他の動物がほとんど食べない木の上の葉や芽ですから、餌を巡る競争相手はほとんどいません。しかし、エゾモモンガが巣として好む樹洞は他の動物も使います。例えばひとつのアカゲラの古巣が、2年たらずの間にエゾモモンガ、ヤマコウモリ、ゴジュウカラ、ヒメネズミの4種の動物に使われた例もあります。

エゾモモンガは2m以上の高さにある樹洞を好み、ヒメネズミは2mよりも低い樹洞をよく使います。ところが、エゾモモンガが入れない程に小さな樹洞の場合、ヒメネズミは2m以上の高さにある樹洞も使います。巣の場所を巡って争いが起こらないように、両方で違う高さの樹洞を使っているのかもしれない。



Q8 エゾモモンガの天敵は？

帯広市の市街地や農耕地に生息するエゾモモンガの天敵は、エゾフクロウ、ハイタカ、クロテン、そしてネコです。特に恐ろしいのはフクロウとクロテンですが、ネコも野良ネコ、飼いネコに限らずエゾモモンガを襲います。全道的にはシマフクロウやクマタカなどの希少猛禽類もエゾモモンガを餌にする事が知られています。



フクロウ(平井)



フクロウのペリットから出てきた
モモンガの骨(柳川)



ハイタカ(平井)



クロテン(自動撮影)

▶ おまけ 動画で見るエゾモモンガの暮らし (岩間)

鳴き声	毛づくろい	うたた寝	排泄

エゾモモンガってどんな動物？ [中級編-生態・行動]

柳川 久, 山口裕司, 竹田津こるり, 浅利裕伸, 村木尚子, 名嘉真咲菜, 鹿野たか嶺, 鈴木 圭, 平井克亥, 原口壘華, 鳶本 樹, 大熊 勲, 濱田瑞穂, 家入明日美, 中野智紘, 岩間 康, 山口 裕

協力: おびひろ動物園

エゾモモンガ

ってどんな
動物？

中級編
-生態・行動-



(濱田)



(鈴木)

チーム・モモンガ
帯広畜産大学 野生動物管理学研究室+

Q1 エゾモモンガの大きさは？

エゾモモンガの体長(頭の前からお尻までの長さ)はおおよそ15～16cm、尾の長さは10～12cmです(背景のシルエットは原寸大です)。体重はおとなで100～120g、妊娠したメスは150～160gにもなります。おなかが大きなメスもちょうど滑空します。

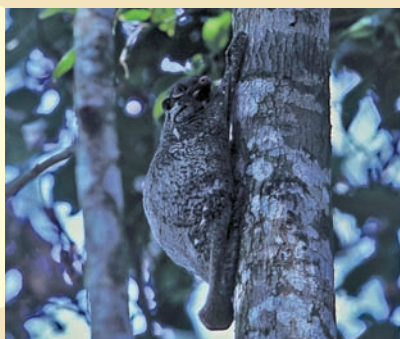
Q2 滑空する動物の仲間とは？

エゾモモンガは滑空して移動する動物です。滑空(Gliding)とは鳥やコウモリのように羽ばたいて飛ぶ飛翔(Flying)と異なり、高いところからゆるやかな角度で、滑るように降下する飛び方です。

滑空する動物には有袋類(カンガルーの仲間)のフクロモモンガやフクロムササビ、東南アジアにいるヒョケザル、そしてリスの仲間のアメリカモモンガなどがあります。日本には北海道にエゾモモンガ、本州・四国・九州にニホンモモンガとムササビが生息しています。



フクロモモンガ(寫本)



ヒョケザル(柳川)



アメリカモモンガ(柳川)



ムササビ(浅利)

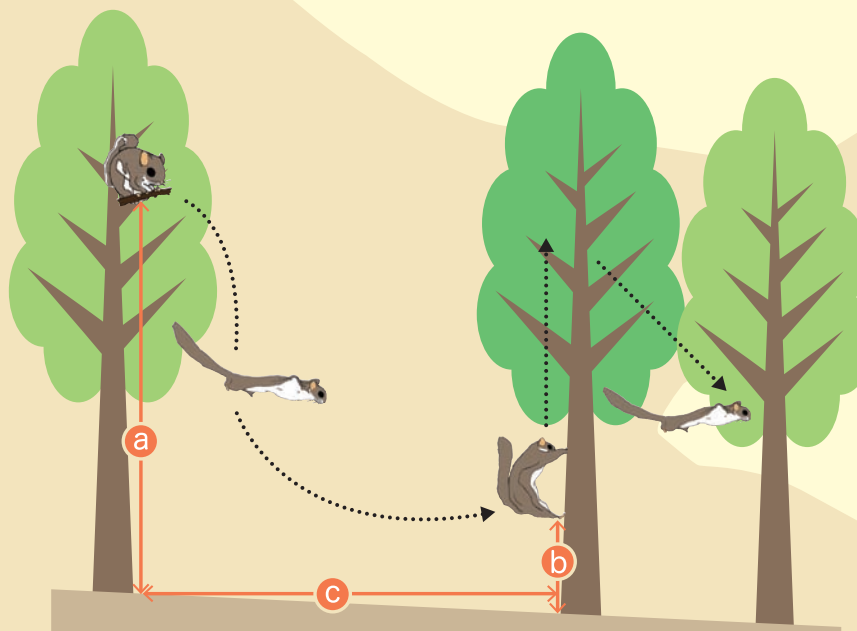
Q3 エゾモモンガはどのくらい飛べるの？

エゾモモンガは高い木から滑空することで、短い時間でより遠くに移動することができます。最長で50mも滑空するのが観察されています。滑空の能力を表す指標とされる「滑空比」は最大3.3ですが、通常は1.0～1.5です。

? 滑空比って??

滑空は高いところから低いところへ落ちていく移動方法です。滑空比はこの能力を表します。

$$\text{滑空比} = \frac{\text{滑空距離}(c)}{\text{滑空した落差}(a-b)}$$



a:滑空開始の高さ b:着地の高さ
c:滑空した木と着地した木の距離
(中野・浅利)



QRコードを読み込むと、
滑空の動画が流れます



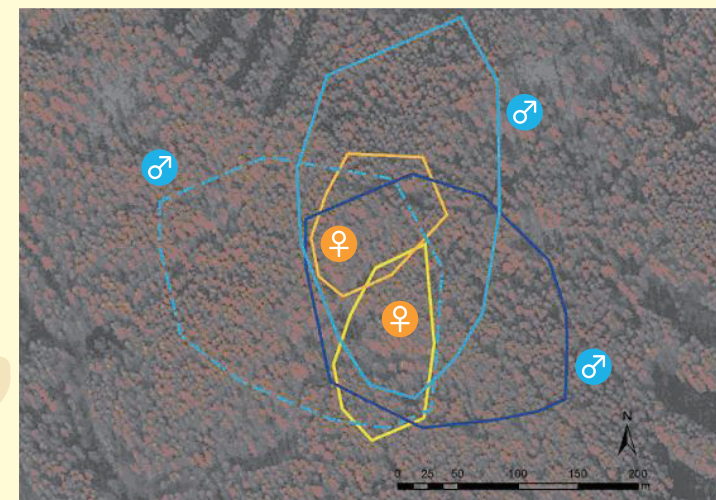
滑空する
モモンガ

© Yasushi Iwama

(岩間)

Q4 エゾモモンガの「行動圏」と「なわばり」って？

エゾモモンガのオスは3ha、メスは1haくらいの範囲で活動しています。この範囲を行動圏といいます。オスの行動圏は、他のオスやメスの行動圏と重なっていますが、特にメスが頻繁に利用する場所では、メスどうしの行動圏はほとんど重なりません。これはメスが「なわばり」を持って、他のメスを避けて生活しているためと思われます。



▲行動圏の模式図(浅利) ★青&水色:雄 ★オレンジ&黄色:雌

Q5 エゾモモンガの巣はひとつなの？

エゾモモンガは1匹で2～8か所の巣を持っていて、時々引っ越します。特に子育て中のメスは子どもの哺育中に少なくとも1度は引っ越します。これは、生活環境を清潔に保つため(子どものフンなどで汚れるので)であり、ノミなどの寄生虫対策だと考えられています。

子どもを連れて引っ越すとき、母親は子どもの皮膜の部分を軽くかみます。そうすると子は母親の首にしっかりと巻き付き、動かなくなるので、この体勢で母親は滑空する事ができるようになります。



エゾモモンガの
子連れ引っ越し



(柳川)